

7月20日(火曜日)

ドル/円

## 米企業決算に市場の関心が集まる

### 19日(月)の主な推移

ダウ平均株価

10154.43ドル  
(+56.53ドル)

米長期金利  
(10年債利回り)

2.9626%  
(+0.0339%)

NY原油先物

76.54ドル  
(+0.53ドル)

チャート: 30分足 19日(月)朝7時 ~ 20日(火)朝6時



※チャートは30分足 日本時間にて表示 ※左表は終値ベース、( )は前日比  
出所:外為どっとコム

- ① 本邦が休場(海の日)につき、アジア時間では動意の薄い展開が目立ち、ドル/円は86円半ばでの方向感の薄い展開が続いた。
- ② 欧州市場に入りユーロ/円の上昇に加え、ダウジョーンズが「ドル円が85円付近まで下落した場合、日銀は追加の金融緩和を行う可能性がある」と報じたことが手掛かりとなり、市場ではドル買い・円売りの流れとなると、ドル/円は87.21円まで上昇した。
- ③ 23時に発表された7月NAHB住宅市場指数が14と市場予想(16)を下回り、米ダウ平均株価が下落に転じるとドル/円は軟調な展開となり、86.63円まで下げた。だがその後株価が反発に向かうと、ドル/円も緩やかに値を戻す展開が続いた。

### 上昇要因(ドル高・円安)

- ・米国経済の回復
- ・米長期金利の上昇
- ・米国の超低金利政策の長期化観測の後退
- ・金融市場全体のドル売りムードの緩和
- ・日銀の追加緩和観測
- ・日本の財政赤字への懸念

### 下落要因(ドル安・円高)

- ・米金融規制案への懸念
- ・米国の超低金利政策の長期化観測
- ・米長期金利の下落
- ・米国経済の回復の鈍化
- ・米財政赤字悪化懸念の高まり

### 本日の見通し

本日の予想レンジ: 86.20— 87.30円

先週から米企業決算の発表が相次いでいるが、先週末より営業収益が市場予想に達しない企業が相次ぎ、米ダウ平均株価の下落に連れてドル/円も下落する展開が続いている。本日も米国では企業決算が相次いで予定されており、市場の関心を集めそうだ。

また本日、米6月住宅着工件数の発表が予定されている。昨日は住宅指標が弱かったことがドル/円下落の手掛かり材料となったことから、もし本日も市場予想を下回る結果となった場合、市場はドル売りで反応することが想定される。

そのほか、カナダ中銀の政策金利発表も予定されており、カナダ/円が大きく動く場面ではドル/円も連れて動くことも予想される。(川畑)

### 本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 時間は「日本時間」

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表数値	市場予想
7/20(火)	21:00	○	(米) ゴールドマン・サックス第2四半期決算	—	—
	21:30	○	(米) 6月住宅着工件数	59.3万件	57.7万件
	21:30	○	(米) 6月建設許可件数	57.4万件	57.5万件
	22:00		(加) 加中銀政策金利発表	0.50%	0.75%
	未定	○	(米) アップル第2四半期決算	—	—

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。

Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com